

兵庫県医師会医療支援チーム（第4陣）「宮城県災害支援現地報告」

理事 藤末 洋

短くとも濃縮された医療派遣が終わりました。今回の貴重な体験は、小生にとって医療の原点である地域医療のあるべき姿を再認識させて頂きました。日々刻々と変化する状況に対応するには、現場での情報収集と情報の発信ならびに情報の共有にあり、これを実行するには、急遽開設された県医師会「SAIGAI」メーリングリストがとても役立ちました。2週間ほどの短期間の間に150近いメールが発信され、後続するチームに受け継がれています。巡回診療の途中、被災された地元の方に日和山公園を案内して頂きました。石巻市街を一望できる風光明媚な公園ですが、津波に呑み込まれた町並みを目の当りにし、胸がつまり思わず目頭が熱くなりました。地獄絵巻とは、きっとこのような情景を言うのでしょうか。しかしながら、復興の萌芽も随所に見られました。石巻中学では、前日卒業したばかりの生徒さんが、感染予防のために黙々とトイレ掃除を行っていました。五年後十年後の復興した石巻市を是非訪れたいと思いました。地震後3週間経っても未だに水も電気もこない避難所が随所にみられます。復興支援は、長期戦になる事が予想されます。今後とも出来る限りの支援を送りたいと思いました。

『がんばろう 日本』

